学校番号	1010

令和３年度　外国語科

指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現Ⅰ	２	２	MY WAY English Expression Ⅰ New Edition ESSENTIAL COURSE

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「英語ができる・わかる」ようになるためには、まず単語と熟語・文法の力を身につけて継続的に反復することです。生徒一人ひとりが自学自習の時間をつくり、能動的に表現する習慣を身につけてください。２年生の段階で「自分で」勉強を進められる習慣づけが大切です。 また、多量の英文を読み、音読し、暗唱して身に付けることも併せて必要です。

授業中には積極的に発言し、覚えた表現を用いてクラスメイトとｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを図ってください。また、習得した表現を組み合わせ、できる限り的確に自分の考えやアイデアなどを相手に伝えられるよう日常的に努めましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ　／主な教材：教科書など（学校設定科目を選択科目として実施）

①話すこと		②書くこと		③聞くこと		④読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
◆絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。 ◆◇日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。	コミュニケーション英語Ⅱ 英語表現Ⅰ インタビューテスト	◇◆身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 ◇◆身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる。	コミュニケーション英語Ⅱ 英語表現Ⅰ 定期考査	◇趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。 ◇ダンスや物の制作など一連の行動の手順について、ゆっくりはっきりと指示されればそのとおり行うことができる。	コミュニケーション英語Ⅱ 英語表現Ⅰ リスニングテスト	◇有名人物の伝記や歴史上の出来事についての英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。 ◇簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。	コミュニケーション英語Ⅱ 英語表現Ⅰ 定期考査

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

点	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝに関心をもち、積極的に言語活動を行い、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit1 **（12 時間）**	時制	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ワークシートに内容をメモし、それを参考にしながらペアで伝えあう。	・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けていく。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・「私のある一日」について書けるようになる	・話の展開の順番を整理する表現を使用する	・文法に注目してまとまりのある文章が書けているか	・ワークシートを提出させ、内容から取り組み状況を判断材料とする。
		「外国語理解の能力」			
		・時と時制が区別できる ・「現在」「過去」「未来」のことを理解する	現在形、過去形、未来表現と進行形、完了形	ワークシートに説明内容を整理できる。	・ワークシートを提出させ、内容から取り組み状況を判断材料とする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・適切な時制を使って英文を書くことができる。	・教科書の問題演習を行い、ワークシートに記入する。	ワークシートに自分で考えた答えを記入し、誤りを訂正する。	・ワークシートを提出させ、内容から取り組み状況を判断材料とする。
Unit 2 **（10 時間）**	助動詞と受動態	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ワークシートに内容をメモし、それを参考にしながらペアで伝えあう。	・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けていく。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・「自分の教室」について書けるようになる	・場所を説明する表現を使用する	・文法に注目してまとまりのある文章が書けているか	・ワークシートを提出させ、内容から取り組み状況を判断材料とする。
		「外国語理解の能力」			
		・助動詞で心の様子表する ・見方を変えると表現が変わる	・許可・可能や義務、推量を表す助動詞 ・基本的な受動態	・ワークシートに説明内容を整理できる。	・ワークシートを提出させ、内容から取り組み状況を判断材料とする。 ・ペアでの活動を観察する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・助動詞、受動態を使って英文を書くことができる。	・教科書の問題演習を行い、ワークシートに記入する。	・ワークシートに自分で考えた答えを記入し、誤りを訂正する。	・ワークシートを提出させ、内容から取り組み状況を判断材料とする。
Unit 3 **（14 時間）**	不定詞、動名詞、分詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ワークシートに内容をメモし、それを参考にしながらペアで伝えあう。	・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けていく。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・「日本の年中行事」について書けるようになる	・特徴を例に挙げて説明する表現を使用する	・文法に注目してまとまりのある文章が書けているか	・ワークシートを提出させ、内容から取り組み状況を判断材料とする。
		「外国語理解の能力」			
		・動詞は形を変える ・役割が変わる	・不定詞と動名詞、現在分詞、過去分詞のさまざまな用法	・ワークシートに説明内容を整理できる。	・ワークシートを提出させ、内容から取り組みを判断材料とする。・ペアでの活動を観察する。

		「言語や文化についての知識・理解」			
		・不定詞、動名詞、分詞を使って英文を書くことができる。	・教科書の問題演習を行い、ワークシートに記入する。	・ワークシートに自分で考えた答えを記入し、誤りを訂正する。	・ワークシートを提出させ、内容から取り組み状況を判断材料とする。
Unit 4 **（12 時間）**	比較と関係詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ワークシートに内容をメモし、それを参考にしながらペアで伝えあう。	・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けていく。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・「日本と外国の習慣の違い」について書けるようになる	・話題を展開する、比較するための表現を使用する	・文法に注目してまとまりのある文章が書けているか	・ワークシートを提出させ、内容から取り組み状況を判断材料とする。
		「外国語理解の能力」			
		・物事を比べて説明する ・説明を加える	比較級や最上級などによる比較表現を関係代名詞・関係副詞	・ワークシートに説明内容を整理できる。	・ワークシートを提出させ、内容から取り組みを判断材料とする。 ・ペアでの活動を観察する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・比較表現、関係詞を使って英文を書くことができる。	・教科書の問題演習を行い、ワークシートに記入する。	ワークシートに自分で考えた答えを記入し、誤りを訂正する。	・ワークシートを提出させ、内容から取り組み状況を判断材料とする。
Unit 5 **（12 時間）**	仮定法、話法など	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ワークシートに内容をメモし、それを参考にしながらペアで伝えあう。	・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けていく。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・「何かを上手にする方法」について書けるようになる	・根拠を述べる、情報を付け加えるための表現を使用する	・文法に注目してまとまりのある文章が書けているか	・ワークシートを提出させ、内容から取り組み状況を判断材料とする。
		「外国語理解の能力」			
		・「もしも…」の世界 ・話を伝える	・仮定法、否定表現、話法と時制の一致、基本的な接続詞	・ワークシートに説明内容をまとめることができる。 ・ペアワークで活用することができる	・ワークシートを提出させ、内容から取り組みを判断材料とする。 ・ペアでの活動を観察する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		受動態を使って、町の名所を説明るすことができる。。	・教科書の問題演習を行い、ワークシートに記入する。	ワークシートに自分で考えた答えを記入し、誤りを訂正する。	・ワークシートを提出させ、内容から取り組み状況を判断材料とする。